

公共施設マネジメント推進委員会（第7回） 会議結果

日 時 令和元年8月28日（水） 13時30分～15時30分

場 所 高浜市役所 会議棟3・4

○出席者

委員長 南 学
委員 谷口 元
委員 松山 明
委員 児玉 善郎
委員 神谷 坂敏

○事務局職員

総務部長	内田 徹
財務GL	竹内 正夫
財務G主幹	清水 健
財務G主任	岩崎 和也

○関係部局

こども未来部長	木村 忠好
行政GL	中川 幸紀
健康推進GL	磯村 和志
こども育成GL	磯村 順司
文化スポーツGL	鈴木 明美
学校経営GL	岡島 正明

○議題

- (1) かわら美術館のあり方について
- (2) 図書館のあり方について
資料1, 2に基づき、事務局より説明

主な意見

- かわら美術館に仮に関する書籍を集めて、日本で唯一の「かわら資料館」とし、他の書籍は他の施設に分散させてもいいのではないか。
- かわら美術館は今後、市民の交流空間としての活用を考えないといけないと思う。
- かわら美術館はスペースとしての広さをかなり有しており、活用方法については民間に募集をかけるとアイデアが出てくると思うので、民間から提案を求めるサウンディング方式を用いてもいいのではないか。ただし、「なんでもいいか

ら」ではなく、ある程度条件を絞って民間に提案を求める必要があると思う。

- かわら美術館にある「ミニシアター」も色々な活用方法があると思う。ホールについても平らであるので、活用方法は多いと思う。
- 図書館は、貸出をメインにするのではなく、子どもから高齢の方まで多様な市民が交流できるような場にしてはどうか。
- 街中のショッピングセンターの一角に図書館機能を持たせるという考え方もあるのではないか。
- 高浜市の図書館は「児童書」が多いという点特徴であるのであれば、そういった専門性の高い図書が多くそろえているという点を活かすべきだと思う。
- 児童書などはいきいき広場に集約するなどの活用を考えてみてはどうか。
- 専門性の高い図書館は、貸出を行わないのが一般的（英米の専門図書館や国立国会図書館など）なので、目的別の図書館という考え方も参考になる。

(3) 前回議題の進捗状況について

資料3に基づき事務局より説明

主な意見

- 今年から水泳指導の民間委託を始められているが、学校の先生が教育に注力していただくという点からも大変いいことだと思う。

○その他

- ・ 総量圧縮（解体工事）における諸問題（アスベスト除去等）

資料4に基づき、事務局より説明

主な意見

- アスベストについて、外壁は剥がすだけで足りるが、内壁が作業的に難しく、専門業者が専用の服を用いて作業する必要があるなど、費用がかかる傾向にある。
- 地中埋設物の数量調査については、サンプリング調査が一般的であり、全量を調べることは常識的には行わないと思う。
- 土壌調査専門機関もあるので、活用してもいいとは思いますが、相当の費用がかかると思われるので、サンプリングか専門機関のどちらの手法を使うのかは見極めが大事だと思う。
- 建物が建っている箇所における埋設物の量を把握することは、難しいと思う。